

経過	入院・手術前日		術前		術後		術後1日目		術後2日目		術後3日目		術後4～7日目 退院		退 院 療 養 計 画 書					
月 日																				
目標	【手術前】 ・手術について理解し、準備が整っている ・安心して手術に臨むことができる														【手術後】 ・痛みが最小限で過ごすことができる		【退院基準】 ・創部の異常がない ・発熱がない ・副腎のホルモン異常による体調不良がない		退 院 日(予定)	
																			月 日	
食事	食事は食べられます	21時より禁食	時以降飲水禁止	飲食禁止	許可がでたら飲水出来ます 許可がでたら食事を開始します										退院後の治療計画					
安静度	制限はありません		手術室には歩いて行きます 歩けない方はストレッチャーで行きます		帰室直後はベッド上で安静が必要です 許可がでたらベッド上で座ります 状況に応じて病室内の歩行から始めます 初回は看護師が付き添い歩行します										□旭川赤十字病院泌尿器科 外来にて通院治療を行います □その他					
排泄			手術前に座薬を使用します		手術後は尿の管が入ります		許可がでたら尿の管を抜きます								退院後の治療計画					
清潔	シャワー浴ができます						身体を拭き着替えます		背中への痛み止めの管が抜けるとシャワー浴ができます								・生活の制限はありません ・下記の場合、泌尿器科外来（休日・夜間は救急外来）にご連絡下さい 必要に応じて受診していただきます ▶38℃以上の発熱がある ▶強い痛みが続く ▶濃い血尿が続く ▶尿が出ず、腹が張る ・腫瘍の種類によっては降圧薬やステロイドの投与や調整を要します			
薬	内服中の薬を確認します		7時に麻酔科医の指示の持参薬を内服します		手術後、点滴をします 手術後、背中に痛み止めの細い管が入ることがあります				★持参された内服薬は医師の指示で再開します 必要に応じ痛み止めの内服薬を処方します ★背中への痛み止めの細い管を抜き											
点滴	薬剤師より薬の説明があります		午後の手術の場合、手術前に点滴をします		★痛い時は注射や座薬を使います				服薬指導											
検査 処置	腫瘍の種類によっては手術前後に降圧薬やステロイドの投与や調整を要します （入院期間が延びることもあります）				手術後、採血があります 手術後酸素吸入を行います 心電図モニター装着します 血栓予防のための器械が足についてきます （歩行できるようになったら除去します）		採血があります		回診後、退院です											
説明 指導	・看護師より入院・手術について説明があります ・麻酔医による説明があります（家族の方は同席して下さい） ・必要に応じて栄養相談があります		★痛みや尿の管の違和感、吐き気など我慢せずに看護師知らせましょう														退院後必要となる 保健医療サービス又は福祉サービス			
	・心配事や眠れない時は看護師に知らせましょう ・手術について理解しましょう ・不安なく手術を受けられるように休みましょう		退院後の生活について看護師より説明があります														・特にありません			
	特別な栄養管理の必要性 有・無		※次回の外来受診時に病理組織の説明があります 今後の治療の説明をします														その他			
備考	※手術に必要なもの ・テープ止めタイプオムツ1枚		※40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります ★わからないこと、心配なことは遠慮なく医師・看護師にご相談ください																	

★状態に応じて、予定が変更になることがあります

主治医

印

主治医署名

主治医以外の担当者

看護師:

薬剤師:

栄養士:

※主治医の押印がある場合は不要